
つくってバクハツ！

ランチュウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

つくってバクハツ！

【Nコード】

N9290H

【作者名】

ランチュウ

【あらすじ】

とんだ些細なことが原因で、変な工作を作るハメになったディステイニー……。意味わからんNO.3のディフィカルトの突っ張りに堪えられるか！？

(前書き)

元ネタはあの工作番組ですw内容がかなりめっちゃくちやなので、関連作品を読んでからにしたほうがいいかもしれない？

ある日、女に飢えていたディステイニーは後輩のリンネにセクハラしていた。

ディステイニー

「お前、ファインの娘だってなあ！？俺に逆らったら、親父の髪をちょん切るぞ！？」

リンネ

「父様のためとはいえ、らんらんるーなんか、恥ずかしくてできないわ！」

ディステイニー

「やれ！さもないと、ハゲた教祖様が親父に牙をむけるぞ！？」

リンネ

「それ、イットとかっていう偽物・・・」

????????

「おなごをいじめるな！！ディステイニー！！」

ディステイニー

「その声は、まさか！？」

見ると、前方に赤いふんどし一丁の、裸のおっさんが立っていた！

リンネ

「きゃあ！！」

リンネはディステイニー以上の変態の出現に驚いて、思わずディステイニーにすがりついた！

ディステイニー

「お前は、ヘルクライム78柱のNo. 3のディフィカルト!!」

なんと、ふんどし一丁の変態の正体はディステイニーより格上のNo. 3だった！

ディフィカルト

「我が身を性欲に任せ、おなごを傷つけようとするとはなんたる愚！！俺がお前に工作を教えてやる！！」

ディステイニー

「なんで25歳の俺がそんなもん・・・」

ディフィカルト

「お前はゴロリの年齢の五倍も年季があるんだから、工作やるぞ！」

ディステイニー

「えーーーーー!!!!!!???」

と、いうわけでお仕置きという理由で工作を作るハメになったディステイニー・・・。

ディフィカルト

「ディステイニー、あのカンペ通りのセリフを言うんだぞ」

ディステイニー

「え、嫌だよあんなセリフ・・・!!!!!!」

オメガ

「早くやりなさい。命が惜しければ」

ファイン

「中の人がブラン・ブルタークと同じだと思って演じろ!!! ってか、私の娘にらんらんるーさせること、私に蛍のコスプレさせることに等しい・・・」

ビコーズ

「では、いきますよ! 3、2、1!」

ピカーン!! ヒューン

ディステイニー

「飛んでる、アアジアンっ!!!」

ディフィカルト

「楽しくコーサイーーン!!!」

二人

「遊んでバクハツ、作ってバクハツ、遊んでバクハツ、つくってバクハツうー!」

嫌々言っていたはずのディステイニー、すごくノリノリで演出している!

ディステイニー

「ねえ、ディフィカルト、今日は何をつくって遊ぶの?」

ディファイカルト

「へへっ☆今日はね、このコサイン型ファンネルを作って遊ぶんだ！」

ディステイニー

「ってそれ、ファンネルを三角形にただけじゃない」

ディファイカルト

「へへっ☆そうだよ、俺が王様だ!!」

なんと、ディファイカルトがセリフを間違えてしまった！

ディステイニー

「・・・そんなの作りたくないよーだ☆」

ディファイカルト

「なんで俺の思い通りにならねえんだ!？」

お前もこれを見れば作りたくなるって! コサインファンネル一号、
発射!」

ピューン☆

ディファイカルトはコサインで近くにいた地鶏を撃ち抜いた!

ディステイニー

「すごいな! なんだか作りたくなってきた!」

ディファイカルト

「・・・だろーなクソガキっ!!」

コサインファンネル二号、発射！！！！」

ピューン☆

コサインの放ったビームは七面鳥の首を焼き切った！

リンネ

「気持ち悪っ、やだこんな番組・・・」

ディファイカルト

「コサインファンネル三号、発射！！！！」

ピューン☆

今度のビームはオメガを貫いた！

オメガ

「ぬがぁー！！！！って、なんで・・・効果音こんなに平和なんだあ！？」

ディステイニー

「これどうやって作るの？」

ディファイカルト

「作り方はね、サインを使うんだ。
まず、サインを殴ります」

サイン

「ぎゃああああっっっ！！！！」

ディフィカルト

「次に未知のエネルギーを取り除きます」

サイン

「ひょおおお!!!」

ディフィカルト

「そしてこれを竹ひごに刺して出来上がり!」

サイン

「がああぎゃあああつつ!!!」

ディステイニー

「出来たぞ、コサイン。さあて遊ぶぞ」

ディフィカルト

「ちょっと待ってよディステイニー、このままだと面白くないよ」

ディステイニー

「じゃあ、どうすんだよ!?!」

ディフィカルト

「実は、サインとコサインをカスタマイズして、タンジェントという魔神に出来るんだ!」

ディステイニー

「ホントかなあ??!」

ディフィカルト

「まず、コサインの上にサインを乗せます」

サイン

「あわわ、浮いてる・・・」

ディファイカルト

「そして、これを上から押し潰す!!!」

ディファイカルトはハンマーでサインをコサインごと殴り潰した!

サイン

「ぎゅんっっ!?!」

ディファイカルト

「この時に残ったのがタンジェントだ・・・」

ディステイニー

「ホントかなあ???」

ディファイカルトはディステイニーの空気の読めなさについにキレた
!!

ディファイカルト

「もう、こんな仕事なんかそくらえだ!!!」

ディファイカルトは机を蹴飛ばした!

オメガ

「ちよっと待ってよ、机ぶつかったら痛いよ・・・」

ディファイカルト

「殺す殺す殺す殺す」

デイスティニー

「じゃあ、この次も、」

リンネ

「つくって、バクハツ！」

ファイン

「ねー！ーよ☆」

(後書き)

ヘルクライム78柱には一応上下関係というものはありますが、入った順番、強い順番でナンバーが決まるわけではないので、あまりいい環境とはいえないようだ・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9290h/>

つくってバクハツ！

2010年10月13日05時36分発行